

公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会

令和5年度 事業報告

第I 概要

令和2年以降、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の感染拡大により社会経済活動の停滞が続き、シルバー人材センター（以下「センター」という。）も会員数や契約金額の減少など大きな影響を受けました。令和5年5月、重症化率が低下したことなどから、新型コロナは感染法上の5類に引き下げられ、福岡県の経済は緩やかに回復してきています。令和6年2月の有効求人倍率は1.21倍で、雇用情勢も改善しています。

シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）については、前年度に比べ新規入会者数が0.6%増、退会者数が2.7%減となり、結果として令和5年度末の会員数は、前年度に比べ226人増（1.0%増）の23,590人となりました。着実に増加してきていますが、新型コロナ感染拡大前の令和元年度と比べると未だ1,076人減（4.4%減）となっています。

また、契約金額をみると、請負・委任では前年度に比べ2.1%増、令和元年度に比べ1.1%減の96億7千万円となっており、派遣については前年度に比べ5.7%増、令和元年度に比べ13.9%増の14億5千万円と大きく伸びています。

そのほか、業務運営の効率化のためのデジタル化については、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）による「シルバー人材センター等デジタル化整備促進事業」を活用し、センターの既存の業務システムに、会員がパソコンやスマートフォンで就業依頼や配分金明細などを確認できる機能の追加がなされるなど、デジタル環境の整備が進みました。

このように、コロナ禍以前の状態に少しずつ回復してきていますが、センターが将来にわたって安定的な事業運営を継続していくためには、令和6年11月に施行予定の「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）」により課される義務に適切に対応するとともに、契約方法の見直しやインボイス制度への対応など、困難な課題に取り組まなければなりません。

こうした厳しい状況の中、令和5年度において、会員、センター及び公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）が力を合わせて取り組んだ主な事業を次のとおり報告します。

- ・ 会員拡大・就業機会開拓について、11月に福岡市のJR九州ホールで全シ協主催の「シルボンス全国大会2023 IN 福岡」を開催し、全国から373人の参加があった。実施に当たっては、女性会員（シルボンス）拡大に関する委員会委員で構成するプロジェクトチームを設置し、企画・運営を行った。

また、Web広告、Instagram（インスタグラム）、Facebook（フェイスブック）を活用した会員募集、事業内容の紹介を行った。

- ・ 安全・適正就業の推進について、安全・適正就業対策委員会で策定した年間計画に基づき、安全・適正就業パトロールを9センターで実施した。また、剪定作業中に脚立から転落する重大事故が発生（11月）したことを受け、現場での事故調査を実施し、再発防止策を取りまとめたほか、2月の安全・適正就業推進員研修会に併せ、脚立の使い方研修会を実施した。

そのほか、7月に福岡市立東市民センターで「安全就業促進大会」を開催し、センターによる事例発表や安全講話など、安全意識の高揚を図った。

- ・ 指導・相談について、福岡労働局・福岡県・連合会合同の指導・相談を13センターで実施したほか、県内各ブロック協議会が行う研修活動経費の支援や、講師等として連合会職員の派遣を行った。
- ・ 契約方法の見直し及びデジタル化の推進について、福岡県・鹿児島県連合会合同の職員研修会を初めて開催し、オンライン参加も含め243人の参加があった。
- ・ 厚生労働省から「高齢者活躍人材確保育成事業」を受託し、高齢者向けセミナーや就業体験、技能講習を実施した。
- ・ 福岡県から「高齢者子育て支援推進事業」を受託し、ふくおか子育てマイスター認定研修会やフォローアップ研修会を開催した。また、「福岡県生涯現役チャレンジセンター」と連携した事業の広報、普及啓発に取り組んだ。

事業の概要は以上ですが、これらの実施に当たっては、福岡労働局職業安定部及び福岡県福祉労働部労働局から指導を得ながら行うとともに、全シ協との緊密な連携のもと、事業の推進に努めました。

第Ⅱ 事業

一 雇用によらない「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」に係る就業機会の確保や社会参加活動のための支援（公益目的事業）

〔就業開拓提供等事業〕

高齢者の希望や体力・能力に応じた請負又は委任による就業を、県内全域で一体的に推進し組織的に提供するため、センターとの強固な連携・協力のもと、家庭、企業、公共団体等のニーズに応える多種多様な仕事について就業開拓に取り組むこととし、活動支援を行った。

(1) 受託事業（一般）

請負又は委任による就業の支援については、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（以下「高齢法」という。）」に基づき「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」に係る就業機会を確保するため、新たな事業の創出や仕事の開拓を行い、受注の促進を図った。

<主な就業分野>

屋外作業（剪定、草刈り、草取り、屋外清掃、空き家・墓地管理等）

屋内作業（屋内清掃、施設・駐輪（駐車）場管理、福祉・家事援助サービス、子育て支援、商品梱包作業、環境リサイクル業等）

① 広域需給調整

地域や発注者ニーズの多様化により、広域的な需給調整の必要が生じている。しかしながら、各センターの作業単価及び作業環境もそれぞれ異なるなど、広域受注には種々の課題がある。派遣では広域受注を行っている職種もあり、請負においても県内のセンターが対応できるよう支援を行った。

② 未設置地域の解消

福岡県及び近隣センターと連携して、未設置町村に対し、センターの設置を促した。

(2) 受託事業（業務委託）

国及び地方自治体の意向に沿って、企画公募型入札への参加や随意契約により、高齢者の就業の場の確保に資する事業を受託し、当該受託事業に関わる会員の地域と一体となった活動や子育て支援活動等を促進し、地域活性化に役立つ情報の収集及び提供を行った。

(3) 独自事業

高齢者の就業機会の拡大を図るため、「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」に係る地域独特の事業の創出による高齢者の生きがいの充実及び地域活性化に資する事業を支援した。

二 雇用による「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、高齢者の労働能力を活用した地域社会づくりを促進するため、シルバー派遣事業及び職業紹介事業等を実施した。

(1) シルバー派遣事業

「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、実施センターと連携・協力して、派遣会員の円滑な就業の促進を図り、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の就業の範囲において、派遣労働を希望する高齢者の登録を推奨し、シルバー派遣事業を積極的に実施した。

(2) 職業紹介事業

「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」に係る求人・求職を受け付け、センターを通して就職を希望する高齢者に対して必要な情報の提供・相談・助言等を行う職業紹介事業を実施した。

(3) 雇用・就業の促進

民間企業、各種団体など的高齢者の雇用や就業についての情報を収集・提供し、高齢者の雇用・就業の推進を図った。

三 高齢者の就業機会の確保や社会活動を発展・拡充するための普及啓発、情報の提供、研修・講習、指導・助言、調査研究事業等の実施（公益目的事業）

1 普及啓発事業

センターの基本理念のもと、事業の発展と拡充を目指し、センター会員の活動状況等を一般に幅広く広報し、地域社会においてシルバー事業への理解が更に深まるよう、普及啓発活動を実施した。

(1) 広報活動

会員の増強や就業機会の拡大を図るため、県内全域の家庭、企業、公共団体等を対象とした、身近で気軽に利用し相談しやすいコーナーを設置し、その効果を上げるため全センター共通の広報用品を作成し配布した。

(2) 社会参加活動

連合会は、高齢者の多様な就業・社会参加ニーズに対応した総合的な就労支援センターとして、就業等に関する相談・情報等の収集・提供に加え、センター会員によるサークル活動等を通じたボランティア活動など地域に寄与、貢献する地域環境

の整備、子育て支援、学童見守り等、地域に歓迎される活動を促進し、高齢者の社会参加を支援した。

(3) 地域交流活動

地域活性化推進グループ等と連携し、地域行事や会議等へ積極的に参加し交流の輪を広げる活動を行った。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の推進

シルバー事業の就業について「安全は全てに優先する」との理念のもと、安全・適正就業対策委員会による組織的な活動を行った。

安全就業の啓発を目的に委員による現場パトロールを実施、安全就業の徹底と安全意識徹底を指導・助言した。

(2) 適正就業の推進

適正就業については、ガバナンス（内部統制）及びコンプライアンス（法令遵守）の確立を目指し、高齢法で定める「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」のローテーション就業によるワークシェアリング（仕事の分かち合い）等を徹底するため、適正就業について指導・助言を行った。

3 指導・相談事業

(1) 法令遵守の業務運営

地域のニーズ及び関係法令等に的確に対応し、円滑に事業を実施するため、適宜情報の収集・提供を行い、指導・相談・助言を行うとともに、知識・企画力の向上を図るための支援を行った。

(2) 適正な財産運用、専門家による助言・指導

公益事業活動の拡充に努め、地域社会の信頼を得るため、保有する財産等の管理について、公認会計士及び連合会でセンター事業の経理・業務等全般について実地検査を行い、適正な経理処理及び運営上の諸課題等について助言・指導を実施した。また、弁護士による法人運営やセンター業務の相談に関する助言・指導及び社会保険労務士による労務に関する助言・指導を行った。

(3) 就業相談及び入会説明会への支援

地域高齢者及びセンター会員等の来訪、電話等による就業及び入会等に関する相談への助言等を行った。

(4) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

各ブロックでセンターが抱える事業運営上の課題や問題点等について連合会職員を派遣し、指導・相談・助言を行いシルバー事業の適正な運営を支援した。

4 研修・講習等事業

センターを取り巻く社会環境の変化を踏まえ、自立した運営の重要性についての認識と人材の育成を目的とした研修会や講習会を開催した。また、様々な仕事に携われる会員の育成や多様化するシルバー事業に対応できるよう、高齢者の知恵と技を生かすセミナー、高齢者のサポートに関する研修会等、センター役職員・職員、会員及び一般高齢者を対象とした研修会を開催した。

(1) 技能講習等事業

一般高齢者、未就業会員を対象に、雇用・就業のための技術・技能の習得・向上を目指し、就業体験、技能講習を行った。

(2) 研修・講習事業

センター役職員や実務担当職員等を対象に、運営上の諸課題及び適正な業務・会計処理等について知識を深めるための研修・講習会を実施した。

また、「福岡県生涯現役チャレンジセンター」と連携し、子育て支援について必要となる知識、ノウハウを学ぶ研修会を開催したほか、同センターの「専門家派遣事業」の活用をセンターに促し、5センターに中小企業診断士、キャリアコンサルタント等の専門家が派遣された。

そのほか、全シ協が行う研修会、九州ブロックシルバー人材センター連絡協議会が行う研修会等へ参加した。

5 調査研究事業

センターを取り巻く社会環境の変化に伴う高齢者の雇用・就業の状況や多様化する発注者ニーズ等の情報を収集し、センター事業の統計・分析に活用したほか、全国のシルバー事業の好事例及び社会参加活動等に関する情報を収集し周知を行った。

また、公益社団法人としての運営上の諸課題、法人の維持及び公益事業等について調査研究を行った。

第Ⅲ 個別実施事業

1 会員拡大・就業機会開拓

(1) センターと連合会の連携を図り、取組みを行った。

① センターにおける会員拡大・就業機会開拓に関する担当者の設置

② 会員拡大・就業機会開拓に関する担当者会議（研修会）の開催

・センターの担当者を対象にした会議（研修会）の開催

連合会が開催するあらゆる会議・研修会において会員拡大に関する情報提供や就業開拓の好事例等を伝える機会を作った。

(2) 女性会員の拡大及び女性活躍推進

① 女性会員（シルボンヌ）拡大に関する委員会（シルボンヌ全国大会のプロジェクトチームを兼ねる。）を下記の通り開催し、県内センターの意識向上を図った。

・協議内容等

月 日	場 所	協議内容
連絡会議 5月18日（木）	オンライン会議	全シ協第1回運営委員会報告、プロジェクトチームの役割、今後の予定等
第1回 6月28日（水）	県中小企業振興センター	要綱、委嘱状交付、シルボンヌ全国大会プログラム検討、広報、役割分担等
第2回 7月21日（金）	県中小企業振興センター	アンケート結果報告、プログラム検討、展示・販売・配付物検討等
第3回 9月12日（火）	県中小企業振興センター	ステージ・フロア各チームの協議内容確認、チーム別協議、全体意見交換等

第4回 10月 4日 (水)	博多バスターミナル	会場下見・確認報告、決定事項等の報告、チーム別協議、全体意見交換等
第5回 11月 8日 (水)	県中小企業振興センター	チーム別最終協議、決定事項の報告・確認、全体意見交換等
第6回 3月14日 (木)	県中小企業振興センター	大会報告、本年度の取組総括、今後の取組・展開等

その他、必要な場合はオンラインにて会議を開催した。

② 女性会員、役職員を主な対象とした会議（研修）又はイベント等の開催

県内初の試みとして女性事務局職員を対象とした研修会を開催した。

- ・女性活躍促進研修会（事務局職員対象）

月 日	講演テーマ等	場所・参加人数
9月12日 (火)	①講演「シルバー人材センターでの“これまで”と“これから”」 講師：大木町SC 事務局長 猿渡 知子氏 ②パネルディスカッション（取組み事例、経験談等）パネラー 県内5SC 女性（役）職員 ③グループ討議等	県中小企業振興センター 70人

- ・全シ協が福岡県で開催するシルボンヌ全国大会の支援

全シ協主催 シルボンヌ全国大会2023 IN 福岡の開催

11月29日 (水) JR九州ホール 参加者数373人

連合・センター（会員121人、役職員200人、一般2人）

運営委員及びプロジェクトチーム 22人

その他（来賓：福岡県・福岡労働局、関係企業等）28人

全シ協運営委員会が決定する大会概要に基づき、女性会員（シルボンヌ）拡大に関する委員で構成するプロジェクトチームを設置し、企画・実施した。

（委員はセンター枠11人、連合会事務局枠2人 計13人により構成）

(3) 広報活動

新聞・ラジオ・テレビ等のマスコミやインターネットを活用して、会員の入会促進、仕事の受注、会員活動、派遣事業、研修・講習等の情報を広報した。

① 連合会事業活動の広報

- ・ホームページやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等での情報提供
連合会ホームページ『各センターのイチオシ情報!』掲載によるセンター活動周知を実施した。（須恵町SC、太宰府市SC）

- ・機関誌「シルバー連合会ふくおか」を発行（25,000部）、各SC等へ配布した。（3月）

- ・リーフレット、チラシ、啓発用品の作成・配布

啓発用品として、ポケットティッシュ5,000個、リーフレット12,200部を作成し、各センターへ配布した。（10月）

- ・啓発用品として、カレンダーを6,200部作成し、各センターへ配布した。（11月）

② 入会促進やシルバー事業の広報活動等の実施

- ・新聞、市町村広報紙、インターネット、SNS等による広報活動の実施

Web 広告（Yahoo!（ヤフー）、Instagram（インスタグラム）、Facebook（フェイスブック））を活用し、会員募集、事業内容の紹介を行った。（10～11月）

- ・全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間におけるセンター及び連合会が連携した広報活動の実施
- ・連合会長・センター理事長連名による支援要請活動の実施
10月を中心に連合会とセンターにおいて県および市町村等に対し要請活動を実施した。
- ・「臨・短・軽」のシルバーの特徴を生かした広報活動の実施
- ・女性や企業退職（予定）者層を意識した入会促進のための広報活動の実施
- ③ シルボンヌ全国大会（福岡県で開催 全シ協主催）と合わせたセンターのイメージ転換や女性会員の活躍推進を図るための広報の実施
SNS（Instagram（インスタグラム）、Facebook（フェイスブック））を活用した女性会員募集及びシルボンヌ（女性会員）活動内容の紹介を行った。

（10月～11月）

（4）社会参加活動の推進

- ① 各地域でのボランティア活動を推進した。
- ② 各自治体及び地域高齢者団体等が行うセミナーや講習・研修会などを情報提供し、地域で取組む社会参加活動を支援した。

（5）地域交流活動

- ① 市町村、社会福祉協議会、ファミリーサポートセンター、保育所、NPO等と連携を図り県内全地域へ交流活動の輪を広げた。
- ② 県内の商工会議所等の経済団体や連合福岡等の労働団体と連携を深め、就業の場の拡大や会員拡大を図った。

（6）独自事業

センター事業の活性化を目指し、会員の豊富な経験・知識を活用し、地域の特性を生かした事業の創出を支援した。

- ① 実施センターへの助言・相談等の支援
- ② 他都道府県のセンターの独自事業について情報の収集・提供
- ③ 県内センターが実施している地域の特性を生かした事業の紹介

2 安全・適正就業推進事業

（1）安全就業の周知・徹底

「安全は全てに優先する」との理念のもと就業会員の安全意識の高揚を図り、事故のない安全な就業の徹底を目指し、現場パトロール等を強化した。

- ① 安全・適正就業対策委員会の開催（年間3回）
 - ・安全就業基本計画、年間実施計画の策定、事故分析、改善策の検討
 - 第1回 4月19日（水） 県中小企業振興センター
 - 第2回 6月9日（金） 県中小企業振興センター
 - 第3回 3月13日（水） 県中小企業振興センター
 - ・安全・適正就業パトロールの実施、改善指導
 - ・計画的なセンター訪問によるパトロール活動の実施（年間9回）

	月 日	センター名
1	7月26日(水)	福岡市SC
2	8月23日(水)	直方市SC
3	9月6日(水)	久留米市SC
4	9月20日(水)	古賀市SC
5	10月4日(水)	岡垣町SC
6	10月18日(水)	糸島市SC
7	11月1日(水)	荏田町SC
8	11月15日(水)	大牟田市SC
9	11月20日(月)	北九州市SC

- ・安全・適正就業対策委員会による就業現場打ちパトロールの実施(適時)
 - ・重大事故発生時の緊急パトロール、現場検証の実施(発生時、適時)
- 重大事故が発生したため、緊急パトロールおよび現場検証を実施、事故の発生状況や原因、今後の対策等について協議・検討した。

12月8日(金) 事故調査

- ② 安全就業促進大会の開催 (年間1回)
7月24日(月) 福岡東市民センター なみきホール 338人参加

【実施内容】

- ・安全標語、安全優良センター表彰(8作品、13SC)
- ・安全・適正就業対策委員会報告

講演等	テーマ	講師
事例発表	石飛事故ゼロを目指して	朝倉市SC安全委員会 委員長 時川 知親氏
安全講話	高齢者の交通事故に関する現状と交通事故の防止について	福岡県警察本部交通部交通企画課 安全教育係 係長 林 大樹氏
記念講演	今から始める転倒・認知症予防のためのお口のケア	(一社)福岡県歯科衛生士会 専務理事 松永 真理子氏

- ・安全就業宣言

(2) 適正就業の徹底

- ① 安全・適正就業推進員研修会 (年間1回)
2月14日(水) 県中小企業振興センター 52人参加
※「脚立の使い方研修」を併せて実施 84人参加
- ② 適正就業の相談、助言、指導 (適時実施)
・来訪、個別訪問、電話等による相談・助言、指導の実施
- ③ 県内各ブロックの安全・適正就業に関する研修・講習等の支援
・各ブロックの要請に基づき、研修、講習会等を支援した。

月 日	内 容	場 所	参加人数
7月19日(水)	安全・適正就業推進大会	行橋市SC	40人
7月27日(木)	安全・適正就業講習会	筑紫野市SC	122人
11月18日(土)	安全就業促進大会	筑後市SC	83人

2月 6日 (火)	安全就業促進大会	うきは市SC	61人
2月 21日 (水)	京築地区SC職員研修会	リブリオ行橋	22人

3 シルバー派遣事業の実施

事業実績 (4月～3月末)

就業実人員	就業延人員	契約金額
3,243 人	286,002 人日	1,455,555,437 円

- (1) シルバー派遣事業に関する情報の収集及びセンターへの提供
 - ① 全シ協等が実施する派遣元責任者講習の受講促進 (年間1回)
11月17日 (金) 県中小企業振興センター 45人参加
 - ② 労働局等主催の会議・研修等の情報の収集・提供
- (2) シルバー派遣事業運営体制の充実・強化
 - ①実施事務所 (センター) が行う業務に関する支援
・実施事務所 (センター) に対する指導・相談を実施した。
 - ②実施事務所 (センター) との連携体制の強化
・派遣事業実務担当者会議
2月20日 (火) 県中小企業振興センター 57人参加
- (3) 法第39条に基づく業務拡大の促進
・法第39条に基づく業務拡大についてセンターの意向を踏まえ拡大について検討した。
- (4) 人手不足分野 (介護・子育て等) 及び現役世代を支える分野の就業促進
・介護施設、保育園等の就業開拓支援を実施した。
- (5) 産業保健活動 (安全衛生・健康管理) 等の対策
労働安全衛生法に基づき労働安全衛生体制の充実・強化を図った。
・派遣会員が常時50人以上の実施事務所 (センター) に衛生管理者、産業医の配置及び衛生委員会の設置をし、開催した。
・衛生委員会開催 (毎月)
 - ① 福岡市 ②北九州市 ③ 宗像市・福津市合同

4 独自事業

センター事業の活性化を目指し、会員の豊富な経験・知識を活用し、地域の特性を生かした事業の創出を支援した。

- ① 実施センターへの助言・相談等の支援
- ② 他都道府県のセンターの独自事業について情報の収集・提供
- ③ 県内センターが実施している地域の特性を生かした事業の紹介

5 職業紹介事業の実施

事業実績 (4月～3月末)

(実施事務所：福岡市・春日市・福津市)

常用就職件数	臨時就職件数	日雇就職延数	就業実人員	契約金額
6 件	0 人日	0 人日	42 人	1,496,133 円

(1) 有料職業紹介事業に関する情報の収集及びセンターへの提供を行った。

① 全シ協等が実施する有料職業紹介責任者講習の受講促進 (年間1回)

10月27日(金) 県中小企業振興センター 26人参加

② 労働局等主催の会議・研修等の情報の収集・提供

(2) 有料職業紹介事業の運営体制の充実・強化

センターに対する指導・相談を実施した。

6 指導・相談事業

(1) 指導・相談業務の実施

事業運営上の諸課題、適正な会計処理等について指導・助言等を行った。

① センター事業の実施状況等に関する情報収集と必要な助言の実施

② 公認会計士・弁護士・社会保険労務士と顧問契約を締結し、専門家による助言が受けられるようにした。

③ 全シ協からの依頼に基づき福岡労働局・福岡県・連合会(顧問公認会計士による指導を含む。)合同の会計及び業務に関する指導・相談を実施した。(原則3年に1回)

	月 日	センター名	場 所
1	9月15日(火)	みやこ町SC	センター会議室
2	10月17日(火)	粕屋町SC	センター会議室
3	10月20日(金)	飯塚市SC	センター会議室
4	11月 7日(火)	志免町SC	センター会議室
5	12月 6日(水)	遠賀町SC	センター会議室
6	12月19日(火)	嘉麻・桂川広域SC	センター会議室
7	12月20日(水)	糸島市SC	センター会議室
8	12月21日(木)	小郡大刀洗広域SC	センター会議室
9	1月12日(金)	豊前・上毛SC	センター会議室
10	1月16日(火)	筑前町SC	センター会議室
11	1月17日(水)	北九州市SC	センター会議室
12	2月 2日(金)	宗像市SC	センター会議室
13	2月 7日(水)	福津市SC	センター会議室

(2) 就業相談及び入会説明会への支援

① センター会員及び一般高齢者を対象に来訪や電話等による就業、就職及び社会参加活動等に関する随時相談を実施した。

② 「福岡県生涯現役チャレンジセンター」内に「センター相談窓口」を設置、来訪者及び電話等での相談に対応、研修会の案内、受講申込み説明、受付等を行った。

(3) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

県内各ブロック協議会が行う研修活動経費の支援を行うとともに、研修講師等として連合会職員の派遣を行った。

・県内4ブロック協議会の研修活動等に対する支援と連合会職員の派遣

月 日	研修会名	場 所	参加人数
1月26日(金)	京築地区経理担当者研修会	リブリオ行橋	7人

2月 8日 (木)	筑豊ブロック経理担当 職員研修会	嘉麻・桂川広域SC 会議室	8人
2月22日 (木)	北九州ブロックSC 研修会	なかまハーモニーホ ール	44人
2月29日 (木)	筑後ブロック会計担当 職員研修会	大牟田市えるる	21人
3月12日 (火)	筑後ブロック業務担当 職員研修会	久留米市SC会議室	25人

7 未設置町村へのセンター設置の推進

センター未設置の6町村に対して高齢者の就業活動促進のため、情報収集および情報提供を行った。

[未設置市町村(宇美町、芦屋町、水巻町、鞍手町、東峰村、吉富町)]

- ・県内及び他都道府県のセンターの活動状況の提供
- ・センター設置のメリットの説明

12月 宇美町から補助事業制度についての問合せに対し詳細説明や資料送付等対応

8 研修・講習等事業

(ア) センター役職員や実務担当職員を対象に、適正なシルバー事業の実施について情報を提供するとともに、会員の就業機会拡大、職員の資質向上を目指して研修・講習会を実施した。

① 役職員研修会 (年間1回) ※定時総会後に開催、オンライン同時配信

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
6月16日 (金)	「センターとともに過ごした35年を振り返る～一高齢退職者となった我が目に映る意外な現実～」 講師：八代市SC (熊本県) 常務理事 松村 克法氏	県中小企業振興センター 会場88人

② 理事長研修会 (年間1回)

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
11月2日 (木)	講演Ⅰ「独自事業・デジタル推進事業 取り組み状況のご紹介」 講師：直方市SC 事務局長 飯野 恭一氏 講演Ⅱ「シルバー人材センター事業の 今後の課題について」 講師：全シ協 専務理事 土田 浩史氏	県中小企業振興センター 45人

③ 監事研修会 (年間1回)

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
12月12日 (火)	講義Ⅰ「シルバー人材センター事業の 契約方法の見直しについて」 講義Ⅱ「監事研修-監事監査のポイント」 講師：公認会計士 越智 大氏	県中小企業振興センター 51人

④ 職員研修会

(年間2回)

・インボイス制度対応実務研修会

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
8月12日(火)	「シルバー人材センターにおける適格請求書等保存方式(インボイス制度)への対応に係る実務上の留意点」講師:衣目公認会計士・税理士事務所 氏原 謙一氏	県中小企業振興センター 83人

※研修後、YouTubeにて研修動画配信(令和6年8月末まで。国税の見解が変わるなど内容等の変更を生じた場合は非公開)

・消費税確定申告等説明会

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
3月5日(火)	講義Ⅰ「総務・会計処理等の留意事項について」 講義Ⅱ「消費税確定申告について」 講師:公認会計士 越智 大氏	県中小企業振興センター 54人

(イ) 地域を支える事業である福祉・家事援助サービス、子育て支援事業を推進することで地域の活性化に寄与した。

9 調査研究等事業

(1) 高齢者の雇用・就業等情報の収集・分析及び提供

① 福岡労働局職業安定部職業対策課、ハローワーク及び県主管課等と連携し、求人情報の収集・分析を行い、センター及びハローワーク等の関係機関へ情報提供を行った。

② 80歳を超えても活躍できる就業環境等の創出の検討

(2) 業務年報の作成及び月次統計の集計・分析、結果の情報提供

シルバー事業の総括及び県内の人口構造及び高齢者の状況や会員の状況、受注件数、事業実績等について調査・集計し業務年報を300部作成、各自治体及び関係機関・団体等へ配布した。(11月)

(3) シルバー事業におけるデジタル化の推進

デジタル社会の到来を踏まえ、シルバー事業においても、デジタル技術を活用した事業展開を図っていく必要がある。このため、センターにおけるスマホ教室やパソコン講座の開催、IT企業に対するシルバー派遣などを推進するとともに、スマホを活用した業務連絡、Web入会システムの導入等デジタル技術を活用したセンターにおける業務の効率化を推進し、研修会を実施した。

・福岡県・鹿児島県連合会合同職員研修会

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
2月16日(金)	第1部「契約方法の見直しの進め方」 講師:全シ協 業務部長 石原 亘氏 第2部「シルバー人材センター・連合会事務局のデジタル化」 講師:鹿児島県SC連合会 事業課 辻邨 太郎氏	県中小企業振興センター 会場 47人 オンライン参加 福岡県 91人 鹿児島県 105人 計243人

3月11日（月）	第1部 フォローアップ研修	オンライン
----------	---------------	-------

10 寄附金募集

公益活動について寄附金募集をホームページに掲載するなど啓発活動を行った。

第IV 委託事業

1 高齢者活躍人材確保育成事業

(1) セミナー・就業体験・技能講習等事業

厚生労働省の委託事業である「高齢者活躍人材確保育成事業」を受託し、①高齢者や企業に対して、センターの積極的な周知・広報を行うとともに、②就業体験を通じて高齢者、企業双方のセンターに対する理解を深めることや、③高齢者がセンターに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な技能講習を行うことにより、センターの会員拡大及び新たにセンターを活用する企業等の増加を図った。

(ア) 事前会議の実施

事業の趣旨や事業の目的等を説明するため、センターの担当職員を対象にした会議を開催した。

4月12日（水）オンライン開催

(イ) 普及啓発の実施

会員拡大や就業機会の開拓のためリーフレット・チラシの作成・配布及び新聞、テレビ等による広報を実施した。

(ウ) シルバー事業説明会、就業体験、技能講習に関する周知・広報

自治体広報誌、新聞、生活情報誌、セミナー・シンポジウム等による周知・広報を実施した。

① 新聞、雑誌による周知広報

技能講習会、就業体験、セミナーの開催にあたり、西日本新聞、毎日新聞（半4段、半2段）（28回）、フリーペーパー・新聞折込広告等生活情報誌（39回）に告知広告を掲載した。

② 自治体の広報紙による周知・広報

技能講習会、就業体験、セミナーについて、開催地の地方公共団体の広報紙に58回掲載した。

③ テレビCM（令和3年度作成）の放映

3/2（日）～3/17（日）KBC12本、FBS8本、TVQ13本 計33本

④ ラジオCMの放送

10/17（火）～10/19（木）RKBラジオ9本

①～④の広報活動による新規入会者数 333人

(エ) 説明会

・高齢者向けセミナー（主に女性を対象）（計2回）

月 日	場 所	参加人数
11月10日（金）	ウェルとばた（北九州市戸畑区）	132人
12月 7日（木）	サンレイクかすや（粕屋町）	56人

(オ) 就業体験 (計 11 回)

- ・高齢者向け (3 種 7 回) 参加者数 80 人
障子・網戸張替え (2 回)、刃物研ぎ (4 回)、季節のリース作り (1 回)
- ・企業向け (3 種 4 回) 参加者数 57 人
農業体験 (2 回)、放課後児童クラブ (1 回)、ガーデニング (1 回)

(カ) 技能講習

- ・講習科目 (9 科目)
介護・家事援助 (高齢者家事サポーター)、刈払機、子育て支援、整理収納アドバイザー、剪定・チェンソー、チェンソー特別講習、調理補助、ハウスクリーニング、マンション管理
- ・講習回数 (計 32 回)
- ・講習定員 (15 人程度) (計 465 人)

講習名	開催数 (回)	参加者数 (人)	新規入会者 数 (人)
介護・家事援助 (高齢者家事サポーター)	4	44	12
刈払機	8	116	11
子育て支援	1	10	1
整理収納アドバイザー2級認定	4	56	3
剪定・チェンソー	7	100	20
調理補助	3	25	4
ハウスクリーニング	3	38	4
マンション管理	1	14	1
チェンソー(特別教育)	1	20	0
合計	32	423	56

(キ) 参加者等に対するアンケートの実施

事業で実施する企業向けシンポジウムや就業体験等において参加企業や参加者に対しアンケート調査を行った。また、結果を集計・分析し、センター及び連合会の会員拡大、就業機会開拓等に活用するとともにセンターに対しても情報提供を行った。

(ク) 企業向けパンフレットの作成

- ・目的：センターの周知および人手不足分野などの企業等からの発注拡大を図る。
- ・内容：センター概要、活用メリット、就業の仕組み、就労事例等を掲載
- ・主な配布先：各センター、ハローワーク、商工会議所、商工会、市町村、企業等
3,400部作成 (3月)、145ヶ所に配布

2 福岡県高齢者子育て支援推進事業

県から「福岡県高齢者子育て支援推進事業 (ふくおか子育てマイスター事業)」を受託し、地域高齢者の子育て支援活動の推進およびセンター事業の活性化を図った。

① 子育てマイスター認定研修等の実施

・ふくおか子育てマイスター認定研修会 (年間4回)

地域	場所	実施期間	修了者数
飯塚	イイヅカコミュニティセンター	9月5日～9月28日 (うち7日間)	13人
久留米	久留米シティプラザ	10月3日～10月24日 (うち7日間)	26人
福岡	ふくふくプラザ	10月30日～11月20日 (うち7日間)	54人
北九州	八幡西生涯学習総合センター折尾分館	12月1日～12月19日 (うち7日間)	22人

・フォローアップ研修会 (年間4回)

回数	講演テーマ	開催地	月日 (参加者数)
第1回	「絵本のチカラ」	飯塚市	1月17日(水) (35人)
第2回	「子育て支援者のためのコーディネーター講座」	北九州市	1月19日(金) (34人)
第3回	「わらべうたで遊ぼう」	久留米市	1月29日(月) (31人)
第4回	「学童保育補助のススメ」	福岡市	2月2日(金) (45人)

② 普及啓発活動の推進

- ・「福岡県生涯現役チャレンジセンター」と連携し、福岡県高齢者子育て支援推進事業(県からの受託事業)を幅広い層へ広報、ボランティア活動や就職及び就業等社会参加の場を開拓した。
- ・子育てマイスター認定研修会開催案内等のチラシの作成・配布
認定研修会案内等チラシを5,000部作成し各センター、関係機関等へ配布
- ・関係機関を訪問しての子育てマイスター事業の周知・広報
関係機関(図書館、子育て支援センター、社会福祉協議会等)を209ヶ所訪問

③ 社会参加活動の推進

- ・子育てマイスターのグループ化を促進し、会員や子育てマイスターの知恵と経験を生かした子育て支援活動を推進した。
求人依頼件数 122件 成立人数 139人
- ・子育てマイスターの更なる活躍を目指し、活動先の開拓やマッチングの強化を図った。
子育て支援団体等への電話開拓 84件 訪問開拓 187件

④ 子育てマイスターの活動調査の実施、結果分析、評価、事業効果の検証

- ・子育てマイスター新認定者に対するアンケート調査の実施
- ・子育てマイスターに対する活動状況調査の実施